

初めてのデッサン

～身近にある立体物を描いてみよう！～

課題の内容

○デッサンとは？

木炭・コンテ・鉛筆などで描いた単色の線画のことを言います。

今回は身近にある「トイレットペーパー」を鉛筆でデッサンしてみましょう。

この課題の目的

- ①立体物をじっくりと観察し、形をとらえる力をつける。
- ②鉛筆の濃淡を使い陰影を描いて、絵に立体感をもたせる。

鉄則 《物の見方・形の捉え方》

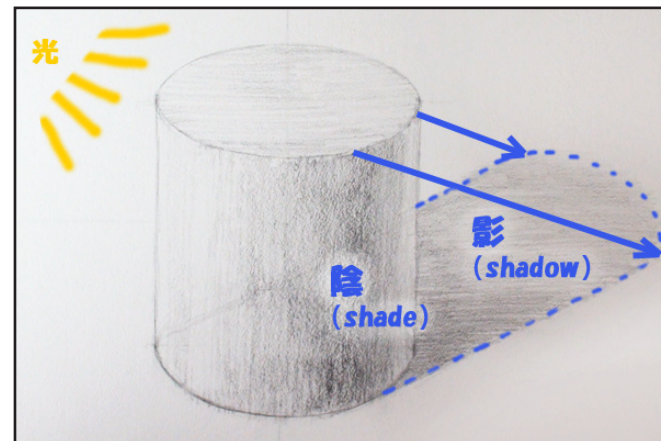
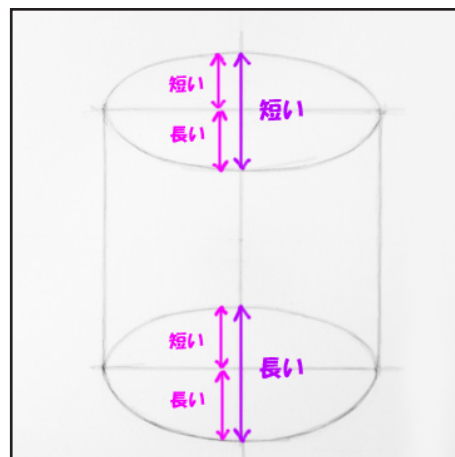
1. 紙の描く場所・大きさを決める（構図）
2. おおまかに形を描き、描くものの形をとらえる。
3. 全体が正確にとらえることができたなら、ここで初めて丁寧に細部や影を描き込む。

右の写真はデッサンの基本となる**円柱**ですが、
なんだかトイレットペーパーに似ていますね。



ではまずはこの円柱を観察して見ましょう。
左上から光が当たると右側に影ができます。
当たり前のことではありますが、描いてると
光源の方向を見失ってしまうことが起きやす
いので意識して描くことが大切です。

立体物を描くときは左下の図のように見え
ない部分も一度描いて見てみると形をとらえ
やすくなります。



実際にトイレットペーパーを描いてみよう！！

左のページで学んだことを活用しながら、実際にトイレットペーパーをじっくりと観察しながら
配布された A4 画用紙に、画用紙の向きは横向きで描いてみましょう。

※光源の方向の指定はありませんが、方向を決めてから描き始めましょう。

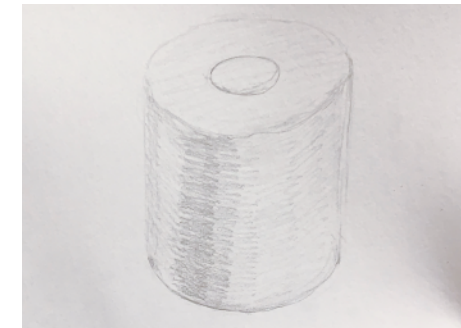
※鉛筆の芯の硬さの指定も今回はありませんが、種類がある方が多彩な表現がしやすいです。

手順

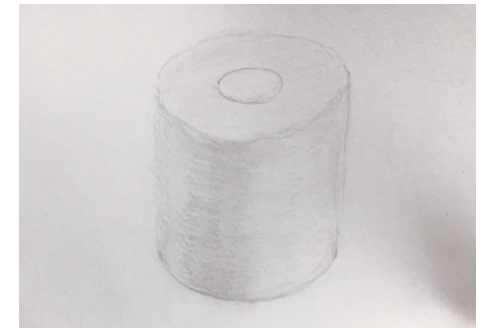


- ①紙に描く位置・大きさを決める
まずはおおまかに薄く描くこと

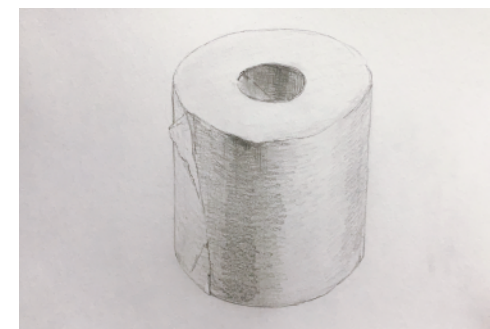
描き初めは一般的に HB や 2 B が
描きやすいと言われています。



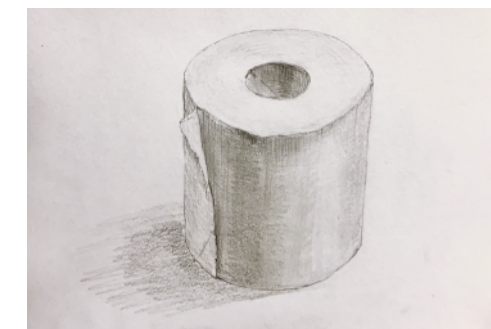
- ②光源の方向を意識しながら、
鉛筆は立てず寝かせて、円柱
の形に沿わせるように陰影を
描いていく。
鉛筆はこまめに削ること



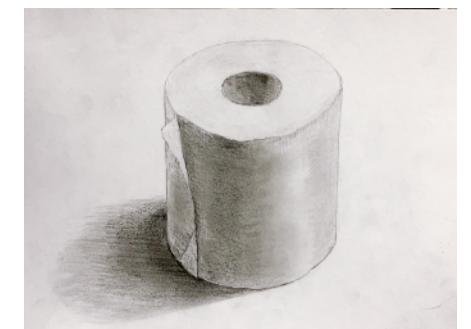
- ③ティッシュペーパー優しく
撫でると上の図のように
「ぼかし」ができる。
※使いすぎるとのっぺりとし
てしまうので気をつける



- ④対象の細部をじっくり観察しな
がら描き込んでいく。



- ⑤接地面を意識しながら床に影を
加える。
鉛筆を立てて細かい描写を描き
込みつつ整える。



- ⑥最後に画用紙の余白の汚れを
しっかりと消しゴムで落とし
て完成です！

デッサンの画用紙は6月1日に回収予定です（状況によって変更する
場合があります）

このプリントも最初の授業で配布するファイルに閉じるので大切に保管
しておくこと。

課題一覧に記載されているハッスルカードは後に配布します。